

## 特集/茨城県建設リサイクル

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部

# リサイクル資材の積極的な活用による循環型社会の構築へ



茨城県建設リサイクルの  
推進にあたり  
国土木部技術管理統括監兼  
検査指導課長  
久家 良和 氏

平素より、建設副産物の再資源化並びにリサイクル建設資材の有効利用や使用拡大に向け、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本県では平成16年10月に「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」を制定し、製品の品質・性能や安全性などの基準及び率先利用のルールを定めることによって、建設副産物を再資源化したりサイクル建設資材を公共工事で優先的に使用できるようにしました。

このような取り組みにより、本県の公共工事における建設副産物の再資源化・縮減率は、現在98.7%と高い水準となり、資源の有効な利用の促進、廃棄物縮減による環境負荷低減の効果が得られるなど、循環型社会の形成に貢献しているところです。

再資源化の一例として、再生加熱アスファルト混合物及び再生路盤材については、評価認定委員会で品質・コスト縮減等に優れると評価され、全ての公共工事で優先的に使用することになっており、再資源化率がほぼ100%に達しているところです。

リサイクル建設資材については、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

今後も、引き続きリサイクル建設資材の認定製品の拡充と利用促進を図ることで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを目指してまいります。



申請内容を評価認定委員会において審議し、基準等を満足する資材を認定

認定手続き

## 評価認定制度の仕組み

建設資材は天然資源を原料に製造され、公共工事において大量に使用・消費されてきた。その天然資源採取が環境破壊につながるなど問題視される一方、建設廃棄物の増大は最終処分場のひっ迫や不法投棄による環境問題を生み出している。

近年、リサイクル建設資材について、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

リサイクル建設資材については、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

今後も、引き続きリサイクル建設資材の認定製品の拡充と利用促進を図ることで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを目指してまいります。

建設資材は天然資源を原料に製造され、公共工事において大量に使用・消費されてきた。その天然資源採取が環境破壊につながるなど問題視される一方、建設廃棄物の増大は最終処分場のひっ迫や不法投棄による環境問題を生み出している。

近年、リサイクル建設資材について、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

リサイクル建設資材については、これまでに22品目の評価基準を策定しており、現在その内10品目で148資材が認定され、制定当初に比べ資材数が約1.5倍にまで広がっております。

今後も、引き続きリサイクル建設資材の認定製品の拡充と利用促進を図ることで、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを目指してまいります。

2015年の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、限りある資源を効率的に利用して循環型社会の実現を目指す取り組みが世界的に進められている。公共工事でも天然資源を原料とした建設資材が大量に使用・消費されており、県はリサイクル建設資材製品の信頼性・安全性の基準を明確にするため、04年10月に性能規定化や率先利用のルールを定めた「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」を制定。今年7月15日現在10品目148資材が認定を受けている。資源循環型社会の構築に向け、今後さらなるリサイクル資材の積極的な活用が期待される。

## 循環型社会の構築へ

### 制度の流れ

①県は公共工事での使用を考慮したりサイクル建設資材の評価基準を作成し公表する。策定に当たり、高度な技術的審査および専門知識が必要となるため、有識者からなる評価認定委員会に付議し、申請書に必要書類、試験結果等を添えて認定を申請する。

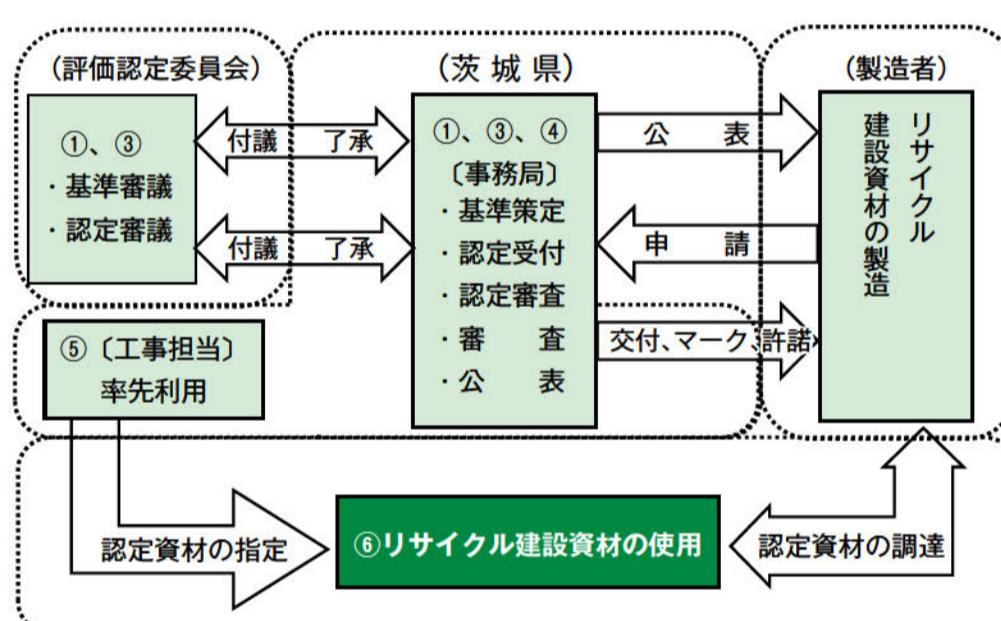
②認定を申請しようとする者は、申請書に必要書類、試験結果等を添えて認定を申請する。

③県は申請内容を審査し、評価認定委員会の了承を得る。

④県は認定したりサイクル建設資材の製造者に対し、認定証を交付し、認定マークの表示を許諾する。

⑤認定されたりサイクル建設資材について、県は率先利用指針に基づき、共通仕様書に示された規格に適合しているものとして率先利用に努める。

⑥工事受注業者は設計書に示された認定資材を調達し工事に使用する。



### 茨城県リサイクル認定資材一覧

資材の種類	使用している再生資材	認定資材数
再生加熱アスファルト混合物	アスファルト再生骨材、一般廃棄物溶融スラグ骨材	44
再生路盤材	コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、一般廃棄物溶融スラグ骨材	82
再生コンクリート二次製品	一般廃棄物溶融スラグ骨材	5
再生硬質塩化ビニール管・継ぎ手	使用済塩化ビニール管・継ぎ手	5
建設汚泥から再生した処理土	建設汚泥	2
刈草・剪定枝等を利用した堆肥	刈草、剪定枝	2
木材・プラスチック再生複合材	再生樹脂、木粉	1
再生土木シート	ペットボトル等	2
廃ガラスびん及びガラスくずを利用した土木資材	廃ガラスびん、ガラスくず	2
建設発生土を原料とした改良土	公共工事に伴う建設発生土	3
合計 10品目		148資材

現在(令和3年7月15日時点)、資材の種類が10品目、認定資材が148資材

### 茨城県リサイクル建設資材認定 (再生碎石・第2種処理土)

### 大泉碎石株式会社

代表取締役 長谷川 雅 弥

〒309-1201 茨城県桜川市大泉 877  
TEL 0296-75-3131  
FAX 0296-76-1128

JR・私鉄 鉄道道床用碎石  
道路用・アスファルト・コンクリート用等各種碎石  
西金碎石(硬質砂岩)採掘直販売  
コンクリート廃材中間処理・再生碎石製造販売

### 関東商工株式会社

本社 茨城県水戸市大町 1-2-15  
TEL 029-221-4010 FAX 029-221-4004  
西金工場 茨城県久慈郡大町西金 477-1  
TEL 0295-74-0611 FAX 0295-74-0883

## 環境負担の少ない持続可能な社会づくりを



ISO9001/2015年 ISO14001/2015年  
関東道路株式会社

本社・工場 〒308-0855 茨城県筑西市下川島635  
TEL 0296-34-1211 FAX 0296-34-1212  
橋木支店 〒307-0226 茨城県下妻市橋木1313-15  
TEL 0296-62-8288 FAX 0296-62-8288  
結城営業所 〒307-0011 茨城県結城市大字1851  
TEL 0296-32-8028 FAX 0296-34-1225  
URL <http://www.kantoku-doro.co.jp>  
E-mail [info@kantoku-doro.co.jp](mailto:info@kantoku-doro.co.jp)

### 日鉱第一碎石 株式会社

代表取締役会長 小河原 欣也

代表取締役社長 小河原利一郎

本社 茨城県常陸大宮市山方645番地  
TEL 0295-57-6860 FAX 0295-57-2507  
八郷生コン工場 TEL (0299)-43-0361  
第一碎石工場 TEL (0295)-57-9311

優良産廃処理業者認定制度における茨城県優良認定事業者第1号  
(産業廃棄物収集運搬業/産業廃棄物処分業/特別管理産業廃棄物収集運搬業)

「自然」を守る「資源」と生きる

### 株式会社 フルヤ建商

代表取締役 古矢 満  
本社/常総市中妻町 579-3 TEL.0297-22-2855  
リサイクルプラント/常総市坂手町 6839 TEL.0297-27-3801

## 一步先行く“受注戦略”



知りたい情報がとにかく早い

電子版  
&  
Web版

- 外出先からいつでも読める
- 新聞より早く情報入手
- 顧客拡大など営業ツールに最適
- 現場の社員配置も指示

## 「情報先取り」今日の紙面を丸ごと“チェック”

一番の特長は、自宅や外出先から見たいとき、読みたいと思ったときに、いつでもどこでも手軽に閲覧出来ることが最大のメリットです。スマートフォンやタブレットなどの携帯ツールで簡単に読めるため、取引先や元請け、下請け先、現場の職人配置にも利用可能なので、即時にその場で連絡・調整が図れます。また、新規顧客の拡大など営業ツールに最適です。速報性に優れ、いち早く確かな情報を提供します。

「電子版」も「Web版」もご購読者様は  
**無料サービス**です